

今日はペンテコステです。聖霊なる神が私たちに与えてくださる恵みを確認し、感謝したいと思います。

1. 助け主、聖霊が与えられる（：1～7）

最後の晩餐の席上で主イエスは聖霊がどのようなお方であることを教え、その方がやがて来られるという約束を弟子たちに話されました。15 章 26～27 節。聖霊のことが「助け主」「真理の御霊」と呼ばれています。その方が来ると、主イエスについて証しします。弟子たちは主イエスについての真理に目を開かれます。そして、聖霊によって助けられ、証しするようになります。彼らが聞いてきた主のことば、見てきた主の御業を証言するようになるのです。

ところが、弟子たちがイエス・キリストのことを証言すると、人々から迫害を受けると言われます。1～2 節。会堂から追放されるということは、ユダヤ人社会から追い出され、信仰生活、日常生活に支障をきたすことを意味していました。使徒パウロも、回心する前は、キリスト者たちを迫害することで神に仕えていると思っていました。

この主イエスのことばが現実になったことを、聖書からも、教会の歴史や一般の歴史からも私たちは知っています。また、他の国の昔の出来事だけでなく、今の私たちにとっても同じようなことが言えます。

そのような試練の中で信仰に立ち続けるのは簡単なことではありません。そのことを主イエスは知っておられます。4 節。この主イエスが語ったみことばがやがて迫害の中で弟子たちの信仰の支えとなるということです。彼らの現状に即してみことばを語り、つまずかないように備えてくださった主の恵みがここにあります。

弟子たちと同じではなくても、私たちも迫害を受けることがあります。私たちもつまずく弱さがあります。ですから、この主イエスのことばは私たちも心に留めるべきです。

聖霊が与えられることを主イエスが教えたもう一つの理由は、遣わした方のもとに行かれるからです。

5 節。主イエスは弟子たちを世に残して、父なる神のもとに行く時が来たことをご存知でした。すべての人の救い主として救いの道を開くためには、十字架で死なれ、死からよみがえり、天に昇られることが必要でした。

イエスが父なる神のもとに行かれた後に、残される弟子たちはどうなるでしょうか。迫害を受ける時が来ても、イエスは一緒にいてくださらないのです。そんな不安な思いになっている弟子たちに、主イエスは聖霊なる神についての約束を与えてくださいました。

7 節。主イエスのご自分が離れていくのは「益」だと言います。神の救いのみわざが進むために必要なことでした。それは聖霊なる神が助け主として弟子たちのところに来られ、それによって宣教の働きが始まり、広がっていくからです。

そして、弟子たちだけでなく、聖霊はいつでも、どこでも信じるすべての人のところに来てくださり、助けてくださいます。14 章 16 節。主イエスが父なる神のもとに行くなら、聖霊が主イエスの弟子たちに、また主イエスを信じる私たちにも与えられるのです。

2. 聖霊の働き（：8～15）

主イエスが遣わしてくださる助け主、聖霊はどのような働きをなさるのでしょうか。

一つは世の誤りを明らかにするということです。8 節。聖霊は「世の誤りを明らかになさいます」。それは三つのこと、「罪について、義について、さばきについて」です。

9 節。聖霊は、主イエス・キリストを信じない者が罪の中にいることを明らかにします。主イエスが語ったことばによって真理を聞きながら、また、なさったしるしによって神の力を見ながら、イエスが神から遣わされた方、神の御子、救い主であることを信じないで、イエスに従わないなら、その者の罪はそのままなのです。

10 節。聖霊は、イエスのことばとわざのすべてが義しかったことを宣言します。イエスが死からよみがえり、父なる神のもとに行かれたことにより、イエスは神の御子であり、罪のないお方であることが証明されました。

11 節。聖霊は、この世の支配者に有罪判決が下されたことを宣告し、この世に対するさばきを明らかにします。イエスの十字架にこそ、この世の支配者が受けるべきさばきが示されたのでした。

このように聖霊はイエス・キリストによる救いを与えるとともに、この世の誤りを明らかにします。信じない者が罪のゆえに、義なるお方によってさばかれ、滅びることを明らかにするのです。

聖霊の働きの二つ目は真理に導いてくださることです。13 節。

聖霊なる神のことを「真理の御霊」と呼んでいます。弟子たちを「すべての真理に導いてくださいます」。導いてくださるのですから、たとえば目的の場所までの道を知らない人と一緒にその道を歩いて行くように、聖霊が弟子たちと共に歩んでくださるのです。弟子たちが真理を知ることができるように、真理をしっかり握って生きられるように、聖霊が共にいて助けてくださるのです。

そして、聖霊は「すべての真理」に導いてくださいます。「御霊は自分から語るのではなく、聞いたことをすべて語」る、すなわち、神のみことばと主イエスのことばに語られていた真理ということです。弟子たちはイエスと共に歩み、数々のことばを聞いてきました。また、よみがえられた主イエスは弟子たちに旧約聖書からご自分のことを説き明かされました。それらのことばを弟子たちはやがて書き記すことになります。使徒たちが書いた福音書や手紙が新約聖書となります。そのように弟子たちが書き記すことにおいて真理の御霊の働きがありました。特にそのことにおいて、この主イエスのことばは成就しました。

また、「真理の御霊」は「これから起こること」を伝えるということです。未来のことを知っているのは神だけです。このことは聖霊が神であることを明らかにしています。

そして、弟子たちだけでなく、真理の御霊は私たちをも真理に導いてくださいます。みことばと共に聖霊が働かれ、私たちが真理を知ることができるように助けてくださいます。

そのように聖霊は私たちを真理に導いてくださいます。私たちは真理の道に沿って進んでいますが、目標には遠いかもしれません。しかし、正しい方向に進んで行くことを願っており、その道を共に歩んでくださる聖霊の助けが与えられています。この恵みを感謝します。

聖霊の働きの三つ目は主イエスの栄光を現すことです。14～15 節。

御霊はイエス・キリストの栄光を現します。スポットライトは、真っ暗な中である対象物を鮮やかに浮き出させますが、光自体には人の注意を引きつけません。それと同じように、聖霊はご自分ではなく、主イエスを人々に知らせます。主イエスの栄光を現します。弟子たちに、また私たちに、神の救いの計画を示し、イエスの死と復活の意味を明らかにしてくださいました。

主イエスが約束された通りに、主が天に昇られてから、ペンテコステの日に、弟子たちに聖霊が与えられました。そして、弟子たちが聖霊によって真理を知り、イエス・キリストのことを人々に伝え、迫害を受けても聖霊によって助けられ、主イエス様信じる人には誰にでも聖霊が与えられた様子が、「使徒の働き」に書かれています。また、聖霊によって真理に導かれた使徒たちが、聖霊の導きによって新約聖書の各書を書きました。

そして、みことばを聞き、イエス様は私の救い主ですと信じる私たちにも、神のみことばの約束の通りに、聖霊が与えられています。私たちはこの助け主によって、自らの誤りを認め、救い主イエス様を信じ、真理に導かれているのです。みことばによって神が私たちに教えようとしておられることを聖霊が私たちに教えてくださり、神の救いを聖霊が私たちに受け取らせてくださるのです。

私たちにも迫害を受ける時が来るかもしれません。迫害ではなくても様々な苦難に遭うことがあるでしょう。その中でも私たちには助け主である聖霊が与えられています。神のみことばである聖書が与えられています。みことばにより聖霊によって誤りを示されるならば、素直に悔い改めましょう。私たちが生きていく中で、救い主イエス様のことをさらに知らせていただけるように、また、この世での闘いの中でどう生きるかを教えていただけるように、心を開いて聖書を読みましょう。救い主イエス様の恵みを感謝して、喜んで信仰生活を送ることができるように、そして周りの方々に救いの恵みを証していけるように祈りましょう。